

令和 5 年度 政策提案を審査

令和 5 年度の政策提案は 2 人から 3 件の提出があり、雄武町公募政策審査会にて慎重に審査した結果、次のとおりとなりましたのでお知らせします。
※紙面の都合上、具体的な提案内容の掲載は省略しています。詳細は町ホームページに掲載していますので、そちらも併せてご覧ください。



↑ 町ホームページ

提案 1 『雄武町の未来を見据えて（全天候型の焼き床施設の建設）』（提案者 町民 40 代男性）

【審査結果：不採用】

雄武町の焼き床文化を広く周知することは、町民にとっても有益と考えられますが、オホーツク周辺の観光客数は季節によって大きく変動するため、建築コストや運営コストに見合うだけの収益が見込めるかが不透明であるため、現段階において町が政策的に取り組む必要性は低いと判断しております。



提案 2 『全天候型の公園の整備』（提案者 町民 40 代男性）

【審査結果：不採用（参考意見）】

全天候型の公園を整備するにあたっては、屋内施設だけでなく屋外遊具や大規模な駐車場など、集客に効果が期待できる施設を併せて整備する必要があると考えられますが、現在の道の駅（地域交流センター）の敷地面積では手狭であり、集会場としての役割もあることから、現時点で道の駅を解体し、全天候型の公園を整備することは不可能と判断しております。
今後、子育て環境の充実や町民の健康増進、交流人口の拡大等も含めた複合的な施設整備や既存施設の有効活用を考えていく際に参考とさせていただきます。



提案 3 『人工石油の製造』（提案者 町民 60 代男性）

【審査結果：不採用】

人工石油につきましては、技術を紹介するニュースが SNS などで配信されており、空気中の二酸化炭素と水を原料に無限に石油を生み出すことは、エネルギー保存の法則などを覆す革新的な技術ではありますが、今回の技術が本当に有効なものであるかは慎重に見定める必要があり、現状では町が研究する段階にはないと判断しております。



町では、「住民と行政の協働によるまちづくりの推進」を目指して、審議会等委員への公募制導入、政策等への意見公募（パブリックコメント）制度の導入などに取り組んできたほか、行政情報の積極的な広報を心がけています。今後とも町政運営に関しては、町民と行政が共に考え、共に創るまちを築くため、取り組みを進めていきますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

図財務企画課企画調整係

雄武町長選挙結果

高橋健仁氏初当選

9月30日の任期満了に伴う雄武町長選挙が9月24日(日)に執行され、新人で元副町長で元広域紋別病院企業団事務局長を務めた高橋健仁氏（61歳）が初当選を果たしました。

今回の町長選挙は1995年（平成7年）以来、28年ぶりの三つどもえの選挙戦となりました。

選挙当日の有権者数は3390人で投票者数は2636人。投票率は77・76%（前回79・47%）、無効投票は36票でした。

雄武町選挙管理委員会



高橋 健仁 氏（旭町）
昭和 37 年 7 月 17 日生



→ 9月25日(月)、町選挙管理委員会の中島委員長から当選証書を受け取る高橋健仁氏



◎雄武町長選挙候補者別得票数

※敬称略

氏 名	党 派	得 票 数
④ 高 橋 健 仁	無 所 属	1,068
石 井 友 藏	無 所 属	880
佐 藤 寧	無 所 属	652

◎投票区別投票結果

選挙当日の有権者数			投票者数			投票率			前回 投票率
男	女	計	男	女	計	男	女	計	
1,662	1,728	3,390	1,274	1,362	2,636	76.65%	78.82%	77.76%	79.47%



雄武町選挙管理委員会



安本 明志美 氏（北浜町）
昭和 37 年 11 月 26 日生

9月24日執行の雄武町議会議員補欠選挙については、届出のあった候補者の総数が定数を越えなかったため、公職選挙法の規定により、投票は行われませんでした。
なお、当選者の氏名などは次のとおりです。

雄武町議会 議員補欠選挙